

◁ 惑星の個人への影響 ▷

1. すべてがかかわりあっている宇宙

この宇宙の中で、存在しているものは一つ一つがすべてと、そしてすべてが一つ一つと、互いに深く関連しあって生きています。5号で、月はすでに死んだ星であると書きました。でも、月が地球や地球の生きものに与える影響は少なくありません。海の満ち潮や引き潮、植物の成長、女性の妊娠や出産、生理的な動き、そして、人間の心理にも影響します。満月の時には、我々の髪の毛の中を流れる体液も、エネルギーに満ちますし、動脈も充満します。ですから、そういう時の外科手術は出血量が多くなってしまいます。このように、死んだ月でさえ、これ程大きな影響があるのですから、生きて活動している宇宙の星々が、どれ程深くかかわってくるか、感じるができると思います。

宇宙と我々の関係というと、天文学とか、占星術という言葉を思いうかべるかもしれませんが、天文学は占星術から生まれたものです。宇宙の惑星の機械的な、物理的な動きを扱います。占星術は、天文学を含め、すべての天体の動きや動き、すべての影響を扱います。宇宙の奥深い知性、精神的な部分まで含むものです。天体や星からの言葉、メッセージを読みとり、未来や万物を解明するものでした。地動説—地球が太陽のまわりをまわっていると言ったガリシオも、占星術を知っていました。積塵以前の、すぐれた古代文明では、天文学も占星術も非常に発達していました。我々は、今、地球に住んでいます。地球は太陽や月、火星、金星などを含めた、この太陽系の中の一つの星です。そして、我々の太陽系は、ほかにも太陽系を持っている、この銀河系の中で生きています。そのような銀河系が集まって、宇宙が成り立っています。これ



エジプトの神官はピラミッドの
大回廊から天体を観測していた

らの天体や、惑星の磁気エネルギー、動き、位置、自分が生まれた日、時間、その時の惑星の配置、それらによって個人個人が受けとる影響は異なってきます。そして、人間だけでなく、一つの民族も国も時代も影響を受けます。

ここに鉄があるとします。それに電気を流すと、この鉄は磁石になってしまいます。我々は地球上にいて、宇宙からの電波の影響を受けています。そうすると宇宙に存在するものは、すべて磁石であるといえます。太陽も星々も、地球も人間も、木も草も、すべてが一つの磁石であり、それぞれの磁場を持っています。宇宙のあらゆるものが、磁氣的に引きつけあい、反発しあい、同調しあいながら、生命を与え、そして生命を返し、互いにエネルギーを、栄養を与えあっています。

ここで、宇宙から受ける影響について、少し書いてみます。

地球に届く電波は、1年に12回、周期的に変化します。これは黄道帯（太陽の軌道、一周する通り道）の12の星座からの電波によると言われています。これによって、地球の磁場が12回、変わります。それは地球だけでなく、人体にも影響を及ぼします。この12の星座の影響については、後に行います。

我々の体は、地球の海と同じ70%の水分と、地球と同じ12のミネラルを持っています。地球が、太陽系の惑星の動きや磁気エネルギーの影響を受けるように、人間の人体も同様に、変化します。我々の主要な3つの基礎成分は、塩、硫黄、水銀です。塩は、固体である肉体を表わし、硫黄は光、火、性的な血を表わし、そして水銀は性エネルギーを表わします。これらの成分の変換が正しく行われないと、エゴの成分である乾燥水銀、肉欲のエゴの成分である砒素硫黄という、人体に有毒なものになって、体内にたまってしまいます。これについては、性のテーマの時に、また行います。

天王星という星がありますが、この星は、太陽のまわりを84年かかって一周します。そして、すべてに二元性、二面性がありますから、この星も2つの極、陰極と陽極を持っています。天王星の十（ポジティブ）な面が太陽に向いて、地球にその反射が届く時は、そのポジティブな影響を受けることとなります。一（ネガティブ）な面が太陽に向いている期間は、ネガティブな影響が与えられます。それぞれ、42年間ずつ続きます。この天王星の主要な金属はウラニウムです。そして、性的な要素を多く持っている星なので、十の影響の時期は、男性的な要素の強い時期です。これまでに海賊の時代、侍の時代などがありました。また、一の時期には、反対に女性のカが目立ちます。女王の時代、アマゾネスの時代などがそうです。そして現在は、この女性の時代にあたります。1945年に、双子座の15度の角度の位置から、このネガティブな42年間が始まりました。1987年まで続きます。射手座の15度の角度の所で終わり、再びポジティブな影響に変わります。これらの宇宙からの影響は、拒絶することはできません。どんな影響が、どのようにあるかを知ることができれば、それを生かすことができます。

流れ星も、その尾の所に大変大きなエネルギーを持っていて、その磁気エネル

ギーが地球に届きます。たとえば、ハレー彗星がそうですし、太陽系以外の星でも近ずけば、良かれ悪しかれ、影響があります。

1965年に、大星と地球が並びました。普通、月の影響による潮の満ち干は、50cmくらいです。しかしこの時は、地域によっては、4~5mも上がりました。ですから、いくつかの惑星が並べば、それだけ大きな、複雑な影響になるわけです。1962年には、惑星直列がありましたし、1999年には大十字（グランドクロス）があります。でも、これらがすべて、地球の大変に結びつくわけではありません。

1962年2月4日から、水がめ座の時代が始まりました。すべてが公にされていく、光の時代が始まったのです。それ以前に、性エネルギー昇華という性の真実は、宇宙のプログラムによって公にされることは許されませんでした。真実は、ごく限られた人々によってのみ、伝えられ保存されてきました。それを公にしようとした人々、たとえば、オルゴン・ボックスで知られるウィルヘルム・ライヒという人物がいますが、彼も殺されました。彼は、ドイツ生まれの心理学者ですが、人間の性を支配するエネルギーを研究していました。このオルゴンは、性のオルガスムからとった言葉ですが、石油やなにかの燃料、動力源がなにもなくとも、永久に働き続けるエネルギーについて、研究・実験をした人です。このような研究を行った人々、また不自然な死に至った人々は、ほかにもいます。宇宙のプログラム、人類の歴史については、そのテーマの時に詳しく行いますが、今、人類の歴史は大変、特別な時代に来ています。地球には7つの時代があり、今は5番目の終わりの時代、新しい時代へ向かう時です。これらのことは、以前に載せたアステックカレンダーが、現代のカレンダーやコンピュータ以上の正確さで伝えていきます。それを読みとる者に、教えています。

ですから、今、生きている人々はすべて、与えられた転生の中で、終わりの時を生きています。一番最後か、最後から2番目の人生を生きています。それが与えられている時間です。植物が、常に太陽を求めるように、我々の魂も、いつも太陽を、故郷を求めています。だからこそ、我々を押すなにか、最も深い内部から、我々を押しているなにかがあるのです。魂は太陽の一部、神の一部です。太陽の、磁気エネルギーに、波動に同調し、そこへ帰ることを願っています。でも、正しい知識なしに、そこへ帰ることはできません。だからこそ、進化のために、すべての真実の鍵が明かされているのです。すべての人が、全宇宙の中で生かされています。すべては知るところから始まります。知って初めて、それを生かしていけるのですから、知ったことをどう使うか、どこへ行くかは一人一人の自由です。

2. 人間の一生と惑星

我々は生まれた時から、一瞬一瞬、数学的に、法則的に、カルマや宇宙の影響を受け続けています。これから、我々が一生の間、太陽系の星から受ける影響に

ついて説明します。創造されたものは、すべて、オクターブの法則の下にあると書いて采ましたが、惑星からの影響も7のリズムを持っています。

1才~7才一月

この7年間は、月の影響を受けます。月は我々の霊の母です。人間はほかの動物に比べ、大変未熟に生まれます。ですから、この時期は家庭にあって、月の保護を受け育ちます。月には、ずっと古い時代、生命があり、その時代の遺跡が月の裏側に残っています。今は、俗に地獄と言われている荒浄の働きだけがあり、星としては死んだ星です。月に最も関連のある金属は銀です。

7才~14才水星

この時期、人間は水星から直接、我々のマインド（思考）に影響を受けます。ですから、この時は勉強に向いていて、世界中の子どもたちが学校教育を受けています。しかし、本当に求めているのは、頭だけの理論や知識ではありません。自分を包んでいる大自然、宇宙と本当に調和し、進化していくための叡智を求めているのです。水の時代の時代になってから生まれた子どもたちは、感性が大変鋭くなっています。自

	♀	冥王星	ヘリウム	さらに上昇、偉大なマスター
	♄	海王星	プラチナ	エゴなく自由
	♅	天王星	ウラン	性エネルギー、パワー
56~63才	♁	土星	鉛	正義の剣、裁き
49~56才	♂	木星	錫	人生の結果 王の杖またはこじぎの杖を 木星が与える。
42~49才	♂	火星	鉄	戦い、仕事、力 家庭の安定
21~42才	☉	太陽	金	全てに生命を与える 重心、人生の方向づけ
14~21才	♀	金星	銅	愛、性の衝動
7~14才	♿	水星	水銀	勉強
1~7才	☾	月	銀	家庭

分でなにが不調和なのか、不満なのかも自覚できずに、登校拒否や自閉症などの形をとって訴えている子どもが、とても多いのではないかと思います。また、水星の影響は、人体内の水銀にも直接与えられ、身体的にも性的な成長をします。

14才~21才金星

この金星は、あけの明星、愛の星と呼ばれます。我々の愛に影響を与えます。14才で、我々の性ホルモンは熟します。ですからこの時期は、ちょっとしたこと

であこがれを抱き、恋をします。性ホルモンの分泌も多く、ニキビもあります。でも、愛と言っても、情欲的な自己中心の場合（ネガティブ、-）と、犠牲的な献身的な愛（ポジティブ、+）とがあります。我々の性腺にある性エネルギーを、そのまま肉体の下部に滞らせたり、消耗するのではなく、変換することによって脳とハートへ昇華させることが必要です。それによって知性と愛を、我身に培っていくことができます。たとえば、ロックやジャズ、ゴージャスなどの下半身に共鳴するような音楽、目に入るテレビや街頭のポルノの刺激、それらは肉体的にも心理的にも性的な煩擾を招きます。それらの刺激があるたびに、一瞬にして、脳から性腺に伝えられ、ホルモンが分泌されてしまいます。2号で、我々にある5つのセンターについて書いたことを思い出してみてください。頭脳センターの動き方の速さを1とすると、感情センターは3万の2乗倍、性センターは3万の3乗倍の速さです。頭が動く前に、一瞬にして感情が動き、性ホルモンは分泌され消費されてしまいます。今は、どちらを向いても性的な刺激であふれています。それらに対して、無自覚に無抵抗でいるのではなく、自分自身が内的に高められ満たされていくような音楽、芸術、そのような生活へと、自分の意志で選びとっていくことが重要です。性エネルギー昇華については、そのテーマの時に詳しく行いますが、7才になったら昇華し始める必要があります。それによって、性的な汚染やアンバランス、問題は避けることができます。そうすることによって、この金星のすばらしい影響をポジティブに生かしていくことができます。金星の金属は銅です。また、我々の甲状腺にも影響を与えます。

21才~42才—太陽

この時期は14年間、二重に影響を受けます。人間として、人生においても、職業においても、最もすばらしい時期です。太陽は、直接我々のハートに影響を与えます。太陽には黒点というものがあり、11年毎に変わります。この変化は、我々の心理にも、また地震などにも影響します。日食という現象がありますが、ほんの一瞬でも、地球と全生物に影響します。ちょうど呼吸を止めるように、エネルギー的な影響を受けます。太陽の金属は金、黄金です。水素で満たされている太陽では、その高温によって水素がヘリウムに変換されています。これは、我々の性エネルギー昇華と同じことです。だから、昇華された性エネルギーによって、魂を黄金で包むことができるのです。

42才~49才—火星

火星は赤い色の星、闘いと力の星です。我々の力に影響を与えます。ですから、この時期は力に満ちた、安定した時期です。仕事も家庭も安定し充実しています。金星の時よりも自由で、自分をとて大きく強く感じたりします。この影響、力はそれ以後の人生のためにポジティブに生かすことが大事です。以前に、火星の色は、大変強い色である赤だと書きました。この赤い色のパワーで、ネガティブなエネルギーから身を守ることができます。また、金星と同様に、我々の甲状腺

に影響を与えます。火星の金属は鉄です。

49才~56才—木星

木星はジュピターと呼ばれます。これは、ローマ神話の中の至上神であり、ギリシャ神話のゼウスにあたります。古代の最高神であり、神々の父です。多くの影響を受けながら人生を生きてきた。その結果を受けとる時期になります。成功であれ失敗であれ、その人生の結果を与えられます。ですから、同じ影響を受けるなら、自分自身がそれを知って、ポジティブな方向へ向けて生かしていきたいものです。それから、ジュピターという言葉ですが、これはマントラ的なパワーを持ちます。聖なる言葉です。マントラとは、真言密教の真言やダラニ（陀羅尼）と同じものです。般若心経がカ、パワーがあるように、パワーのある言葉を言うことによって、ポジティブなエネルギーの動きを生じさせることができます。木星の金属は錫です。

56才~63才—土星

土星は、月とは正反対に位置します。惑星の影響のサイクルは、普通これで一周します。そして再び月に戻ります。この土星の影響を受ける時期は、成熟した人間としての時期にあたります。これまでの努力の結果が表われます。家庭や、また社会的な仕事や人間関係や、多くの面で、いろいろの違いが生じたりします。土星の金属は鉛です。

63才~70才まで、普通は再び月のサイクルに戻ります。ですから、また子どもに戻ったようになります。宇宙の中で、すべては円を描いて動いています。それで、らせんの形をしているほら貝は、その形故に、“生命”を表わしています。それは普遍的な象徴、シンボルです。多くの古代文明の中でもほら貝が見られ、日本でもあります。

70才~77才までは水星です。再びメンタルな、精神的な影響を受けます。ですから、再び向学心に燃えて、なにかを習い始めたりもします。

77才~84才までは、金星の影響を受けるため恋をしたりします。

このようにして、惑星からの影響のサイクルを進みます。

しかし、中には、これらの影響を生かし、自分自身の努力によって磁場を広げ、さらに高い波動に同調できるようになる人もいます。そのような人は、再び同じサイクルに戻ることはありません。

63才~70才までは、天王星の影響を受けます。努力の結果、社会では重要な地位についたり、心身ともに明確で、再び生命力ある性エネルギーに満ちます。本当の先生と呼ばれるような存在になります。

70才~77才までは海王星です。この星は海の王と言われます。ここまで至った人物は、本当に大変重要な人物となります。たとえば、クリシュナムルティという人がいます。彼はインドで生まれ英国で教育を受けました。以前、チャクラの時に、リードビーターという名前をあげましたが、その彼が、クリシュナムルテ

いの金色のオーラを発見しました。クリシュナムルティは、エゴを持たない全く自由な人です。エゴを根絶した1人のマスター、先生です。このような人物は、その人の持つすばらしい磁気エネルギーによって、多くの人々を引きつけます。本当の魅力によって。

その次は冥王星です。このように段階を上昇していき太陽系から銀河系へ移ります。その最後の段階はシリウスという星まで至ります。アフリカのマリ共和国にドゴン族という部族が住んでいます。彼らの言い伝えの中には、高度な天文知識とシリウスの伝説があり、それらの儀式が行われています。またエジプトではイシス信仰とも関連を持ち、太陽とシリウスが同じ位置から共に昇る日を記念して寺院が建てられました。寺院の通路が正確にシリウスに向けてあるので、聖堂の祭壇にまっすぐ、シリウスの光が射しこみます。デンデラにあるイシス寺院もその一つです。このように、奥深い叡智は、古代文明の時代から伝説や神話の中に、芸術や普遍的なシンボルの中で秘教的に伝えられて来ています。

万物がエネルギーの交差、栄養の与えあいによって成り立っています。太陽から種としてまかれた我々は、その太陽へ収穫を返す必要があります。進化をしてより高い存在となるように、太陽は望んでいます。そのために、それぞれの役割…惑星での仕事、太陽系での仕事、銀河系での仕事と段階的に行っていきます。

そして、それを終えると、ほかの銀河系での仕事が与えられるかもしれません。この広大な宇宙の中には、ほかの惑星で地球人とは比較できないほどの進化をとげた住人が生きています。本当の知性と愛を持った存在があります。我々も、肉体のある間はここで、死後は精神的な、霊的な存在として生きていきます。このように正しい知識によって、すべての影響を生かし、自分自身の磁場を広げていくことができます。そして、これからの残された人生のためだけでなく、死後のためにも、魂が故郷に戻るまで、叡智によって準備をしていくことができます。

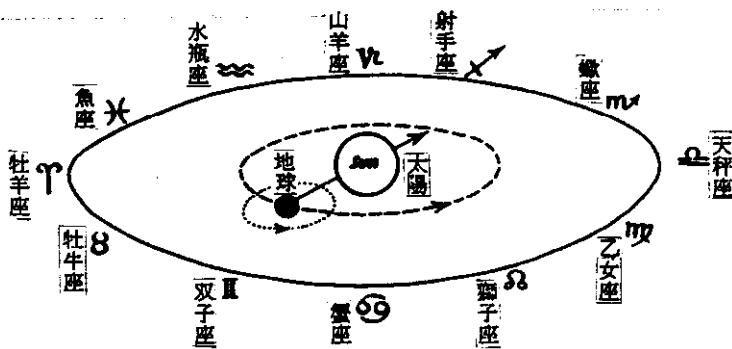
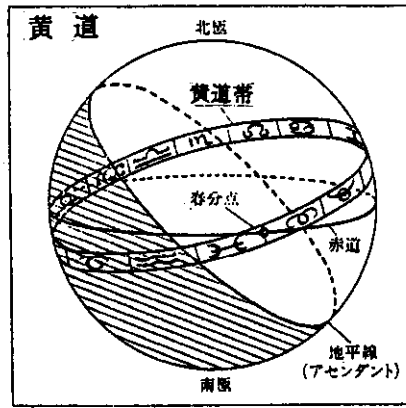


天国に至る階段 (ライモン・ルンの著書より)



3. 12の星座宮とのかかわり

すべてが円を描いている宇宙の中では、我々の太陽系全体も絶対太陽を中心にして、そのように動いています。つまり、太陽も一つの軌道、通り道をまわっています。それを黄道、黄道帯と呼びます。そして地球が太陽のまわりを一周する時間を1年と呼ぶように、太陽が黄道を一周する時間を1天体年、1プラトン年と言います。1天体年は、地球の1年になおすと、約2万6千年かかります。そして、この1天体年の「1年」にも四季があります。今は冬の時代にあたります。そして一周する間に12の星座と出会います。そして図にあるように、春分点が一周する動きにつれて、移動していきます。魚座の所にあった春分点の、次の位置



が水がめ座です。19世紀の一人の霊能者が、「水がめ座福音書」というものを書いたと言われていいます。それは、リバイ・ドーリングという人が、宇宙の創造の源から現在、未来の全宇宙のできごとすべてを記録してある

「アカシックレコード」(アカシック記録)から霊視したものだと言われます。

このように、我々も、またあらゆるものが、創造のプログラムによって教学的な法則によって生かされています。全宇宙からの影響と、自分自身が積み重ね培ってきた個人のカルマやダルマ、運命の中で、今を生きています。

黄道の12の星座とその影響について、まとめた図表を載せましたので説明します。

日というのは、誕生日のことです。それによって自分がどの星座の影響を特別に受けるのかわかります。体の部分というのは、体の中で、特にその部分に影響があるということです。その部分が丈夫であるとか、または弱いとか、その部分が磁気的に同調しやすいということです。メタル(金属)は、それぞれの惑星を表わすもので、我々の体内にある同じメタルに影響を及ぼします。ですから、それぞれの惑星によって、特に力に、あるいは愛に、また、理性にと影響してくるわけです。それらは、転生の中で、自分の進化にとって必要なものを与えられています。石と色も、同調しやすいもの、良い影響を与えるものです。香は、その

黄道12宮

	おひつじ 白羊宮 ♈	おうし 金牛宮 ♉	おたご 双子宮 ♊	かに 巨蟹宮 ♋	しし 獅子宮 ♌	しし 処女宮 ♍	てんびん 天秤宮 ♎	さそり 天蠍宮 ♏	いて 人馬宮 ♐	やぎ 磨羯宮 ♑	みずがめ 宝瓶宮 ♒	おう 双鱼宮 ♓
日	3/21 ~ 4/19	4/20 ~ 5/19	5/20 ~ 6/20	6/21 ~ 7/22	7/23 ~ 8/22	8/23 ~ 9/22	9/23 ~ 10/22	10/23 ~ 11/22	11/23 ~ 12/21	12/22 ~ 1/19	1/20 ~ 2/17	2/18 ~ 3/20
体の部分	頭	首・耳 後頭部	うで・肩 肺・気管	胃	心臓・脊柱	腸・下腹	腎臓	性器	腰・股	膝・皮膚	かくらはざ くるぶし	足
メタル	鉄	銅	水銀	銀	金	水銀	銅	磁石	錫	鉛	アルミニウム ウラン・鉛	アラチナ 錫
石	ルビー ダイヤモンド	エメラルド めのう	金柱石	真珠	ダイヤモンド	エメラルド	かんらん石	トパーズ	パール・サファイア	縞めのう	サファイア 黒真珠	アメジスト
香	ミルラ(没薬)	香草	乳香	樟脳	香煙	白檀	楓脂香	珊瑚	蘆薈	松・ジュン	甘松香	百里香
木	欖	樺	エカリ・桜	ひまわり	榆	松・赤杉	水仙	檜	竜舌蘭	美芭蕉	松・赤杉	竜舌蘭
花	赤い カーネーション	さんざし	白ばら	ひなげし	あさがお	水仙	金星	菊	あじさい	はす	天王星	すみれ
惑星	火星	金星	水星	月	太陽	水星	金星	火星	木星	土星	天王星	海王星
色	赤	緑	橙 やまぶき	銀	金	黄	緑	赤	青	黒	緑	紫
エレメント	火	土	空気	水	火	土	空気	水	火	土	空気	水
キーワード	アクション	愛	理性	肥沃	生命	理性	愛	アクション	善意	妨害	利他	威厳
曜日	火曜	金曜	水曜	月曜	日曜	水曜	金曜	火曜	木曜	土曜	土曜	木曜
リージャント 主	サマエル	ウリエル	ラファエル	カブリエル	ミカエル	ラファエル	ウリエル	サマエル	サマリエル	オリフィエル	アルチエー サマクレル	ラサモサ ウアカビエル

植物が地球から吸いとった、それぞれ特別のエッセンス、精髄を持っています。ですから、香をたくことによつて、そのエッセンスの良い影響を受けることができます。木や花、植物はそれぞれ惑星によつてコントロールされます。やはり、我々にとって有益なものです。エレメント（要素）は、自然界の4つの要素、火・水・土・空気の中で、特にかかわりの深いものを表わしています。キーワードというのは、単的に言えば、その人の性格や行動、生活上の特徴のようなものです。考える前にアクション（行動）を起こす人や、とても理性的に冷静な人とがありますね。惑星と曜日というのは、太陽系の惑星とのかかわりです。我々が、惑星から影響を受ける順序は、月、水星、金星、太陽、火星、木星、土星という順序です。ですから本当の一週間の曜日というのは、月曜、水曜、金曜、日曜、火曜、木曜、土曜というものだったのです。でも、16世紀に、カトリックによつて今の曜日に変えられてしまいました。しかし、名前はどう呼んでも、実際に受ける影響は変わりません。これらの惑星は、人体の内分泌腺にも、心理にもかかわっています。主というのは、惑星を自動車にたとえると、運転手のような存在です。運転している人の魂が車をコントロールします。すべての惑星は生きています。人間と同じです。惑星そのものが肉体であり、その肉体を中心から導びくもの、それが魂である主、知性ある主です。我々を、肉体の内部から、魂が進化へと押しているように、惑星も内部から知性によつて導びかれています。その惑星の地表に住人がいるとしても、その住人たちとは関係なく、その惑星を導びいています。ですから、地球にもそういう存在があり、これほどにおおいかぶさっている心理的な頑廃したエネルギーを洗浄しようとしています。

このような多くの星からの影響は、人間を完全なものにするための援助なのです。起ってくるすべての物事も、より完全な進化へ向かう一つの過程、道程です。叡智は存在しています。知識は中性です。それをどう使うか、生かしていくかは、1人1人の問題です。ノーシスは理論や理屈ではありません。1人の人間が、だれかという他力に依存することなしに、心の奥から本当に自分を変えていける、そのための個人の生き方なのです。


前号に載せたプラクティス（実践）はいかがだったでしょうか。初めての方には、とてもわかりにくかったのではないかと思います。実際に実践することを、全くの文章だけで説明するのは、やはり不親切で難しい面が多くあります。皆さんにおわびいたします。疑問や、もっと具体的にお知りになりたい方には、それぞれの方に合わせたより良い方法で、お伝えしたいと思います。御遠慮なくお知らせください。また、前号で少し触れたベンタグラム（防衛の星形の象徴）のことが、「ムー」1月号（12月9日、学研発行）に、大変詳しく載っています。興味のある方はごらんください。また、今回触れるルーン文字の実践のため、詳しい資料のほしい方はご連絡ください。お送りいたします。

マントラ（真言）の効果について、少し書いてみたいと思います。マントラは、叡智をもって組み合わされた言葉、文字と音節からできあがっています。ですから、マントラは、ある効果を持つ音であると言えます。人間自身がこの三次元、肉眼で見える次元で生きていながら、四次元など、目に見えない次元でも活動しているように、マントラの音も、目に見えない次元にまで共振して響いていきます。だからこそ、この物質に支配された次元をはるかに越えた高い力を動かし得るのです。我々が意識を集中させマントラを発音する時、我々の内部に、大変なエネルギーを呼び起こさせるものです。百万冊の本を読むよりも効果があると言われるほどです。これは、実践してみるとおわかりになると思います。

また我々の呼吸は、血液の循環を良くし血液の浄化に役立ちます。脳細胞を活発にし、体内の電気の流れを促進させます。ただ単に酸素を吸い、二酸化炭素を体外に出すというだけではありません。呼吸によって受けとった酸素やほかの要素が、体内にある生命エネルギーと結びつき、我々の内的な生命を活動させるものです。ですから、ブラクティスを行う時、またほかの時でも、そのような気持で、意識をもって呼吸することが重要になってきます。

今回は、呼吸法とルーン文字のブラクティス（実践）をお知らせします。

今、世界中で使われている文字の由来は、このルーン文字（RUNE）にあります。このルーンは、神秘、秘密、叡智、火の矢、動きという意味があります。英語のRUN（走る、回転する）は、このルーンから来ています。この地球上の原初の人々は、神秘的なシンボル、象徴を使っていました。それが神聖文字、ルーンです。このルーン文字の痕跡は、イースター島の“ロンゴ・ロンゴ”と呼ばれる文字など、世界中に見られます。東京の日比谷公園にも、スカンジナビア3国から贈られたルーン文字の石碑があります。この神聖なルーン文字は、北欧の神話の中でも大変重要な位置をしめています。シンボル、象徴というものは、我々のインテレクト、頭だけに留まるのではなく、魂や意識にまでも届きます。ですから、頭ではわからないと感じるとしても、意識はそれを理解し、受けとっています。そしてシンボルは、その形故に、ある一定のエネルギーを集中、吸収します。そして、吸収したエネルギーの違いによって、我々をそれぞれに活動させ、内的に培っていくものです。ピラミッドは生命エネルギーを吸収し、ドーム屋根は、そこに集まった人々のマインド（思考）のエネルギーを結晶させます。人の頭もドームの一つです。

だれでも知っている^{マニ}は、お寺のマークではありません。ルーン文字のギボル、GIBOR、から来ています。十字、それは神聖なエネルギーの交差、2つの力の交差を表わしています。火と水の、男と女の、陽と陰の力の交差です。だから、十字は普遍的なシンボルなのです。赤外線カメラでも、そのエ



會上は日本に伝わるまんじ。右の足の指に描かれたものは、インドでみられるまんじの表現

エネルギーをとらえることができると思います。この十字が動き出したもの、それがこの卍(スワスティ)です。右回りの卍は陽の力、創造の力を、ナチスの卍(逆まんじ、スワスティカ)は陰の力、破壊と死の闇を呼ぶ力を表わします。ルーン文字は、形と動き、マントラ(真言の波動)、呼吸法が組み合わされたものです。そして、それによって、我々人間が大変なエネルギーを操作し、より高い内的人間として、自分を育てていくことができるものなのです。

★集中力を養い、生命エネルギーを吸収する呼吸法

(1)壁か柱かに、自分の目の高さの所に黒い点を想像する。慣れるまで、白い紙に黒い点を書いて貼っても良い。そこから2mくらい、適当な距離をおいて立つ。背筋は伸ばす。自分の眉間と黒い点が、見えない糸によって結ばれていることを意識、想像する。なるだけ、まばたきをせずに点に集中する。次に、頭の中で数をかぞえながら、7拍、息を深く吸う。そこで1拍、息を止める。その時、心に「呼吸は生命だ」と言う。それから7拍で息を静かに吐く。そして1拍休む。そしてまた7つ、息を吸う……とくり返す。この時、息を吸う時はかかとを徐々に上げていき、下げた両手は親指を外にして握っていく。1拍休む時は、かかとを上げたまま、げんこつのまま言葉を心の中で言う。吐く時は、かかとを下げながらげんこつも開いていく。最後の1拍は両足を床につけ、両手も開いた状態。この7(吸う)、1(止める)、7(吐く)、1(止める)の動作を黒い点に集中したまま3分間行う。

(2)④をイスなどに腰かけて行う。かかとの上げ下げと、手のげんこつがないだけであとは(1)と同じ。両足は組まずにそろえる。手は親指を離し足の上におく。

次はルーンの実践です。意識をもって想像と意志を使って、内的な力を揺り起こします。常に東を向いて、夜の12時までの間に行う。病気や体の状態によって、手の印(ムードラ)で行っても良い。我々の手は、強力なアンテナ、受信器のように動くものである。

★ルーン・ファ FA

意識の真の目覚めと宇宙の力を体内に湧き起こす。図②のように太陽に向かう。深く息を吸いつつ、太陽エネルギーが、手から体中に吸収されることを想像する。次に息を吐きながらファーと発音する。次に深く息を吸いつつ、吸収したエネルギーが脊髄を上昇し脳とハートに至ることを想像する。次にフェーと発音する。このようにして、ファー、フェー、フィー、フォー、フーと発音する。最後に図③のようにし、万物のために、己れの進化のために祈り、感謝し、「アーム」のマントラを3回発音して終わる。

